

進路指導

進路学習の一つとして現場実習を経験することで、働くことへの意欲・関心を高め、自分の特性を知ったり、社会人として必要な基本的態度や知識を身に付けたりするなど、卒業後の進路先や生活について見通しが持てるようにします。中学部では、1週間の校内実習、高等部では1年生前期に校内実習、1年生後期、2～3年生の前期・後期に計5回、2週間の現場実習を行います。実習の前後で教育相談を行い、実習前には実習を通して目指す姿について、実習後には実習を終えての成果と課題や卒業後の目指す姿などについて話し合います。

校内実習

校内で実際の職場をイメージし、就労に必要なマナーや態度について実際に作業を行いながら学び、就労への意欲を高めていく実習です。

集団活動

福祉サービス事業所や一般企業の実際の職場で「働くこと」を体験し、生徒が自己の特性や卒業後の進路と生活について考えるための実習です。

